11 月の Global　Session のお知らせ

期日：2026 年 11 月 29 日(日)10：30～12：00

場所；ガレリア 3 階　会議室

ゲスト：馬淵實（まぶち　みのる）さん：棉生（ゆうき）テキスタイル　404 回目

「日本の風土を透徹した美学、木綿のほんとうの力に触れる」

コーディネーター：亀田博さん（大津市在住・ツアーコーディネーター）

参加費：600 円（高校生以下は無料）

参加者：10 名程度　（小人数でのセッションをします）

申し込み：児嶋きよみ　（0771－23－6579）

概要

「古布との出会いは、繊維の総合商社で仕事をしていたころです。八尾の大谷美術館をたずね、明治・大正時代のたくさんの河内木綿と出会いました。そこですばらしい木綿を見て、離れがたい気持ちになり、むりやり借りて来て何度も触れるたび、とても感動したことを思い出します。そこから

「よし、古布を再現するぞ！」と思いました。現在の社会に生活している私は、古布の持つ心を、現代の技術を使って、いまに生きる木綿として、再現していきたいと思っています。

私どもの社名の「棉生（ゆうき）テキスタイル」の棉生（ゆうき）という社名が、糸ヘンの綿でないのは、枝になったわたの良さをそのままお届けしたいという意味を込めています。

日本の四季と木綿について：

日本で育った和綿は、日本の気候に適した素材であるといえますが、現在日本でとれる綿は本当に少ないです。世界各地で収穫されるわたの特性を活かして用途別に使いわける知のおしゃれをしていただきたいです。今は、わたを選んで木綿を生かしていく時代が来ていると思います。





工房兼店舗です。　　１００%綿の上着　何グラム？５００ｇです。

将来の構想について：「木綿の里計画」：わたの種を播き、育て、摘み取り、糸にし、織り染め、縫

うという工程の中で、みんなで同じ作業をするなかで、お互いに話し合い、学んでいくことが目的です。